

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
乳児保育Ⅱ Baby Child Care II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修)	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程必修科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育内容総論、乳児保育Ⅰ、保育内容健康				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
高橋登美子	講義棟3階	火、水、金（授業時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要				
3歳未満児の発育・保育についての学びを深め、健やかな成長を支える3歳未満児の生活と遊びの具体化を学ぶ。				
授業の目標				
①乳幼児の基本的な生活習慣の獲得の意味を習得することができるようにする。 ②乳児保育の保育計画の実際を知ることから、子どもの発達助長に向けた保育計画を立てられるようにする。 ③乳児保育における保護者や関係機関との連携の必要性の説明ができるようにする。 ④乳児との関わり方に自信が持てるようにする。				
授業の方法				
乳幼児の保育の実際の学びに向けての、授業内容に合わせた「講義を受ける」「映像教材を見る」「演習活動に取り組む」授業とする。				
学習の成果（学習成果）				
「乳児保育」とは何かを、具体的な方法を示して実践するための保育課程に基づく乳児指導計画を、環境構成に配慮して作成することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスの説明、乳児保育Ⅰのふりかえる）			
第2回目	乳幼児の基本的な生活習慣の獲得と保育①～乳幼児期の食事について（食事場面の重要性）			
第3回目	乳幼児の基本的な生活習慣の獲得と保育②～排泄行動について（おむつを替えてみる）			
第4回目	乳幼児の基本的な生活習慣の獲得と保育③～排泄行動を促す環境教材の作成			
第5回目	乳幼児の基本的な生活習慣の獲得と保育④～睡眠について（乳幼児突然死症候群）			
第6回目	対人関係の発達と保育①～言葉の発達			

第7回目	対人関係の発達と保育②～映像教材「言葉を育てる語りかけ育児」	
第8回目	対人関係の発達と保育③～人とかかわる	
第9回目	乳児保育の保育課程①～1歳児デーリープログラムを読み解く	
第10回目	乳児保育の保育課程②～保育課程作成について	
第11回目	乳児保育の保育課程③～年間指導計画・月間指導計画・週案・日案・個別計画を立てる－1－	
第12回目	乳児保育の保育課程④～年間指導計画・月間指導計画・週案・日案・個別計画を立てる－2－	
第13回目	乳児保育における保護者との関係～連絡帳の活用	
第14回目	乳児保育の必要性を捉えるための筆記試験～演習活動の復習	
第15回目	赤ちゃんとの出会いと育児・保育～母親の手記から学ぶ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義を受ける態度は、教師の指導に則った様子であること。（机上の整理、私語を慎む、テキスト持参、演習活動への積極的な参加 他）
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	乳児保育の必要性を捉えた内容として、基本的な生活習慣の獲得、言葉を育てるかかわり、保護者との関係について適切な言葉と表現を用いて述べている。
発表内容（態度含む）	20%	排泄行動を促すための環境教材の作成。乳児にとっての環境（色・形・大きさ等）に適したものであること、安全であることで評価する。
その他		
教科書と参考図書		
「乳児の生活と保育」：ななみ書房		
履修上の留意点・ルール		
赤ちゃん人形の取り扱いには十分注意する。保育教材製作時の材料は各自が用意する。使用教室の衛生・整備に心がける。演習活動に必要な準備の際は、積極的に取り組む。		